

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂									
指定管理者	社会福祉法人東京聖労院									
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日									
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－			
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課									

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	11	11	0	10	3	7	4	25
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和	年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	0	3	5	3				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和	年度	備 考
延利用者数（人）	8,046	8,488	8,441	9,056			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和	年度	備 考
経費実績	収入	109,406,864	122,273,625	115,808,381	126,469,598	0		
	指定管理料（清算後）	17,053,545	21,200,751	18,367,136	18,388,138			
	利用料金収入	91,737,225	97,841,942	94,775,164	104,532,780			
	その他収入	616,094	3,230,932	2,666,081	3,548,680			
	支出	115,378,390	122,019,515	126,218,723	126,767,924	0		
	職員人件費	86,809,769	84,719,273	92,524,941	94,082,977			
	光熱水費	3,207,704	2,932,710	3,011,316	3,077,987			
	修繕費	1,200,323	3,306,182	2,406,723	693,082			
	事業運営費	8,238,466	10,220,545	10,537,440	10,633,243			
	施設管理経費	13,727,944	18,130,200	16,101,652	16,779,213			
	その他経費	2,194,184	2,710,605	1,636,651	1,501,422			
	差引収支額	-5,971,526	254,110	-10,410,342	-298,326	0		
	年度協定書で定める指定管理料	19,600,973	22,125,017	18,497,825	18,896,647			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	1 / 5	1 / 5	×1	1 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						96 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、

該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	港区介護ロボット等導入支援補助金の検証事業施設として選ばれ、業務の効率化を図りました。ときKANRI（※歩数やケア時間を可視化）を使用し、現在のケアを分析すると共に、①ペーパーレス化②Wi-Fi環境整備③眠りSCAN活用等に取り組ましました。人事評価と連動した処遇、適切な就業・健康管理、及び「職員懇談会」等による意向把握の体制は既に構築していますが、第三者評価では、職員が安心して働き続けられるための対策が望まれていたため、令和6年度から開始した小グループ単位の懇親会を継続し、部署内での良好なコミュニケーションとチームの結束力を高めていきます。これまで納涼祭として開催していたお祭りを、熱中症対策のため秋祭りとして10月に開催しました。5年ぶりの地域も含めた開催でしたが、大きな事故もなく開催することができました。令和8年度以降も地域連携を意識したお祭り作りに取り組んで行きます。
区（施設所管課）による評価	全体として適切かつ安定した施設運営が行われていたと評価します。業務効率化に向け、介護ロボット導入検証やときKANRIの活用、ペーパーレス化及びWi-Fi環境整備などのICT推進に取り組み、一定の成果が認められます。また、地域を含めた秋祭りの開催など、多世代交流の取組も積極的に実施されており評価できます。一方で、第三者評価において指摘のあった職員のモチベーション向上や職場内コミュニケーションの強化については、継続的な取組が必要です。併せて、個人情報及び情報セキュリティに関する取組については、改善されていますが、引き続き研修の徹底や運用体制の強化を図る必要があります。今後はこれらの課題への対応を着実に進め、より質の高いサービス提供につなげていくことを期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）